



【めざす生徒像】

努力を怠らず、互いの違いを認め、支えあい、協働できる生徒

修 学 旅 行

「わった一仲間、絆を深化、笑顔で沖縄楽しもかー」

< 1日目 5月23日 (木) >

修学旅行直前の突然の沖縄梅雨入り宣言。天気予報は何度見ても雨。不安ばかりがつのる中で、何とか、遅刻なくみんなが揃い、順調に出発。たくさんの見送りありがとうございました。子どもたちも天気予報を見ていたこともあり、晴天の神戸空港で、もうここでいいんじゃないかという声も上がる様子。また、はじめて飛行機に乗る子もたくさんおり、不安+不安で逆にテンションが上がってしまう場面も。そんな不安も、飛行機が沖縄上空についたときに、外の雲が切れている様子を見て一気に解消。初日の体験を雨に降られることなくスタートできました。

まずは、平和祈念公園での平和学習。ガイドさんの話を聞きながら、平和の礎を見て、戦争の悲惨さを実感しました。平和セレモニーではプロジェクトメンバーが前に立ち、平和宣言、千羽鶴献納、黙祷と、みんなをリードする形で素晴らしいセレモニーとなりました。

次に、平和資料館の見学。リアルな戦争の描写に触れ、平和についてたくさんのことを学ぶ機会となりました。その後、ホテルへのバスの中でも、ガイドさんからの平和についてのお話を聞かせてもらい、1日目の体験が終了。ホテルへの到着が遅くなったりと予定外のこともありましたが、みんなしっかり頑張り、沖縄料理のバイキングでの夕食も何度もおかわり。しっかり食べておなか一杯になったあとも、しっかり準備し大きく遅れることなく就寝へ。



< 2日目 5月24日 (金) >

朝食後、活動に移動しようとしたら突然の雷雨。本当に体験ができないのではと2日目も不安いっぱいスタート。現地のインストラクターさんがこれからの天気の動きも確認し、クルージングは×。その代わりに、キャンドルづくりを行うことになりました。ただ、説明を聞いている間に、雨も弱まり、バナナボート、キャンドルづくり、エコバッグづくりに分かれて体験活動スタート。バナナボートは、イルカたちの横を通って移動。イルカたちも、突然現れた中学生に興味

があったのか、ゆっくりと泳ぎながら見ていました。バナナボートは2艇に分かれて乗りました。動いたと思ったら、一挙に見えないところまでひとつとび。一挙にテンションは最高潮に。キャンドルづくりは、丸形、四角形の容器に、沖縄の砂、サンゴ、貝殻をいれ、最後に溶かしたゼリージェルを入れてもらい、この世に1つしかないキャンドルになりました。エコバッグづくりは、何種類かの絵から選んで色付けするのですが、シーサー模様が人気で、すぐにうりきれてしまいました。最後の体験のあたりで、またしても雨。とりあえず、ホテルに帰って昼食。3種類から選べるカレーに、みんなおなか一杯になるまでしっかりおかわりしていました。食後は、午後の体験、美ら海水族館へ。なんとか小雨でスタート。観光客も多く、混雑の中、ジンベエザメの大水槽は、迫力もあり、足を止める人もたくさん。深海魚ゾーンなど、普段見れないような魚の展示もありました。こちら、体験の終盤、屋根のないイルカショーに向かう頃にまさかの大雨。みんな全身ずぶぬれになったので、早めに引き上げ。ホテル側の配慮で入浴時間をたくさんとってくれたので、しっかり体を温めてからの夕食、夜のレク。夜レクは、マジックショーや、クイズなど大盛り上がり。テンションが上がりがすぎて、会場使用時間ぎりぎりまで使うことに。片付けも全力で行い、なんとか時間内に撤収完了。2日目もしっかり楽しめました。



< 3日目 >

最終日、みんなの気持ちも届き、晴れ間が見えるほどの天気。朝ごはんでは、終始人気だったパイナップルも堪能し、しっかり食べて出発。国際通りでは、クラスの枠を外して、自分たちで考えたグループで。沖縄ならではの食べ物をみんなで食べたり、お土産を買ったり。人気だったのは沖縄限定のハンバーガー。お土産では、紅芋タルト。2時間たっぷり散策し、大袋いっぱいのお土産を買っていました。那覇空港では、長い飛行機の待ち時間もみんなで楽しくおしゃべりをして、すぐに出発時間に。何とか全員離団することなく帰ってこれてよかったです。子どもたちも大満足の様子でした。

